

27. 眼科

眼科部長 中間崇仁

2023年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、眼科としては、ある程度コロナ禍以前に近い状況下での診療となりました。引き続き常勤医5名体制で診療しており、年間手術件数は昨年以上となりました。網膜剥離などの眼科救急疾患に関しては、昨年同様迅速な対応が継続出来ている一方で、待機可能手術に関しては、待機期間がさらに長期化しており大きな課題と考えております。

2024年は日帰り白内障手術枠を増やす予定ですので、手術までの待機期間の短縮が徐々に出来ると思います。筑豊地区の眼科診療レベルを高めるために、各課題に対する対策を継続していく所存です。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

入院患者疾患別内訳（2023年）

病名	総数	急患	性別		年齢 (平均)	在科日数 (平均)
			男	女		
白内障	314	1	135	179	75.9	3.2
網脈絡膜疾患	134	36	79	55	63.7	6.8
緑内障疾患	123	9	61	62	73.7	6.9
硝子体疾患	30	6	20	10	63.8	7.2
眼内レンズトラブル	22	4	16	6	75	5.4
水晶体疾患	10	2	3	7	73.1	5.4
外傷性疾患	11	0	10	1	57.2	5.4
翼状片	5	0	2	3	82.6	2
角膜疾患	3	2	2	1	73.3	15.7
視神経炎	2	0	1	1	41	13.5
その他	16	0	6	10	53.9	6.1
総計	670	60	335	335	71.5	5.1

手術室での総手術件数 [1122件]

手術（内訳）	件数
水晶体再建術	730
緑内障手術	132
硝子体手術（網膜剥離）	222（49）
その他	38

（重複を含む）